

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点



海岸通り－1

平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」と歩いてきました。

今回は「海岸通り」を歩きます。海岸通りは港区東新橋の昭和通りの蓬莱橋交差点を起点に、環七通りの先大田区平和島に至る延長約11kmの道です。

写真右上は海岸通り起点の道路名標識（都道316号線）です。沿道は物流施設と汐留シオサイト、天王洲アイランド、品川シーサイドなどの新しい街が誕生しています。「海岸通り」の通称は東京では道路の通称だけですが、横浜・大阪・神戸など全国の地名や道路に見られます。また伊勢正三作詞・作曲でイルカが歌う「海岸通り」の歌もあります。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[蓬莱橋交差点]

港区東新橋一丁目

最寄駅 JR 新橋駅

昭和通り（都道481号線）の蓬莱橋交差点が海岸通りの起点です。蓬莱橋とは現在は埋め立てられましたが、ここを流れていた汐留川にかかる橋名です。

写真下左が蓬菜橋交差点で手前が昭和通り、正面が海岸通り、写真下右は海岸通りの起点で左方向へ進みます。上（車道）は首都高速道路が通っています。



[汐先橋交差点] 港区東新橋一丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 汐留駅

汐先橋交差点（写真下右）で右から来た環二通り（都道 481 号線）と交差、左は新大橋通り（都道 50 号線）の起点です。



後ろを振り返ると、なにかと話題の多い広告界業界に君臨する「電通本社ビル」（写真下左）、前方は徳川将軍家の庭園で現在は公開されている「浜離宮恩賜庭園」（写真下右）です。



[浜離宮恩賜庭園] 中央区浜離宮庭園

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 汐留駅

海岸通りは「浜離宮恩賜庭園」の右側の濠に沿って歩きます（写真下左）。
「中の御門」（写真下右）があり、ここからも庭園に入れます。汐先橋交差点前の大手門より混雑していない出入り口です。浜離宮恩賜庭園については寅さん歩 434 環二通りー1をご覧ください。



左に「汐留第二ポンプ所」（写真下左）があります。汚水を集めゴミを除き芝浦水再生センターへ送る、大雨の時は雨水を集め東京湾へ放流の役割があります。またここでは芝浦水再生センターの再生水を霞ヶ関・永田町域へ送水もしているとのこと。左上を見ると新橋駅を出た「新交通ゆりかもめ」（写真下右）が海岸通りの上を横切り、竹芝駅へ向かいます。



[芝商高交差点] 港区海岸一丁目

最寄駅 JR 浜松町駅

芝商高交差点（写真下右）で竹芝通りと交差します。左へ行くと竹芝栈橋、右へ行くと浜松町駅です。



左のマストが見えるのが「竹芝棧橋」です。寅次郎ここから東海汽船で伊豆大島、三宅島、八丈島の旅に出ています。いずれも夜の出港でレインボーブリッジをくぐり、東京の夜景を楽しみました。横浜大棧橋に寄港する便もあり、横浜の夜景も楽しめます。寅さん歩 117 江戸・東京の祭—45 (花の祭—9) をご覧ください。

[浜崎橋交差点] 港区海岸二丁目 最寄駅 ゆりかもめ 日の出駅

写真下は浜崎橋、左は新浜崎橋、上は新交通ゆりかもめ軌道です。浜崎橋を渡ると浜崎橋交差点（写真下右）で右へ行くと第一京浜（国道15号線）です。



[南浜橋交差点] 港区海岸二丁目 最寄駅 ゆりかもめ 日の出駅

南浜橋交差点（写真下右）は国道130号線と交差します。

国道 130 号線は右へ行き南浜橋を渡り，第一京浜（国道 15 号線）に合流する短い国道です。



[日の出橋] 港区海岸三丁目 最寄駅 ゆりかもめ 日の出駅

水門（写真下左）で東京湾の高潮から橋の右側（写真下右）の住居を守ります。



[潮路橋交差点] 港区海岸三丁目 最寄駅 ゆりかもめ 芝浦ふ頭駅



潮路橋交差点（写真左）の左は芝浦ふ頭、右へ行き潮路橋を越えると芝浦工大・JR田町駅東口方面です。
潮路橋交差点の先左の「埠頭公園」には芝浦から出発した我が国で初めての南極探検隊の記念碑が建立されていました。寅次郎、初見の記念碑です。

[埠頭公園] 港区海岸三丁目 最寄駅 ゆりかもめ 芝浦ふ頭駅

説明板には『白瀬矗（のぶ）隊長以下 27 名はこの地芝浦を 1910 年（明治 43 年）11 月 28 日出航、南極の夏を待つため、シドニー港に滞在、1912 年（明治 45 年）1 月 16 日南極大陸に上陸、白瀬隊長以下 5 名は 2 台の犬ぞりで氷原を前進し、苦難の末、1 月 28 日南緯 80 度 5 分、西緯 156 度 37 分の地点に到達、日章旗を建て、ここを「大和雪原」と命名しました。留守隊は沿岸の前人未到の地域を探検しました。一行は天文気象など学術上多くの成果を上げ、6 月 20 日全員元気に芝浦に帰港しました』と記載。写真下左は記念碑（左下には全隊員の名前が記載）、写真下右は公園入口にある「砕氷船初代しらせ」のスクリュープロペラです。2009 年（平成 21 年）11 月南極探検出発の地を記念して、海上自衛隊から港区へ貸与されました。



[汐彩橋交差点] 港区海岸三丁目 最寄駅 ゆりかもめ 芝浦ふ頭駅

汐彩橋交差点（写真下左）を左に行くとレインボーブリッジ、右へ行くと JR 田町駅東口方面です。



[五色橋北詰交差点] 港区海岸三丁目

最寄駅 JR 高輪ゲートウェイ駅

五色橋北詰交差点（写真下左）の先は五色橋（写真下右）です。1962年（昭和37年）東京オリンピックの五輪の五色にちなんだ橋名だそうです。



高浜水門（写真下左）が橋の右側の住宅街を東京湾の高潮から守っています。



[第一芝浦丸] 港区海岸三丁目 最寄駅 JR 高輪ゲートウェイ駅



左側に「第一芝浦丸」の展示がありました。この船は、東京湾の埋め立てが盛んにおこなわれていた1926年（大正15年）に建造された蒸気船です。この船の目的は埋め立てに使う土砂を運ぶ船（土運船・バーン）を引くための舟（引き船・タグボート）です。

[港南四丁目交差点] 港区港南四丁目 最寄駅 JR 品川駅東口

港南四丁目交差点（写真下右）で都道 480 号線と交差します。左へ行くと港南大橋を渡り品川ふ頭方面、右へ行くと JR 品川駅東口です。



[港南小前交差点] 港区港南四丁目 最寄駅 JR 品川駅港南口

港南小前交差点（写真下左）で左側は京浜運河までの港南緑水公園、右へ行くと東京海洋大学品川キャンパス（写真下右・交差点左奥がグラウンド）、JR 品川駅港南口方面です。



今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースが FWA ホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。

寅次郎、バーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」の長旅を完歩して、次のバーチャルウォークは「東海道五十三次」京上りに挑戦します。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩 379 令和3年10月から掲載済。今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。FWAバーチャルウォーク作成者の八柳修之さんは現在、東下りの石部宿付近だそうです。連絡を取り合って、どこかの宿でバーチャル宴会の予定です。皆様の旅の進捗のご連絡をお待ちしています。

寅次郎、昼食用の東京弁当を持って2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、お江戸の記録的な猛暑の中、同日に品川宿（現在の品川区）（江戸・日本橋から7.8km）に到着です。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。



写真上左は「日本橋」です。夜明けとともに木戸が開き、魚屋たちは近くの魚河岸へ魚の仕入れに向かいます。大名行列が日本橋を渡り西国に旅立ちます。写真上右は「品川日之出」です。江戸時代の品川宿は海の近くで桜の名所の御殿山のふもとにありました。明け方に日本橋を発った大名行列は3里離れた品川宿を通過する頃に朝日が昇ります。



写真上は寅次郎持参の昼食「東京弁当」（写真下左右）です。江戸・東京の老舗“浅草今半、すし玉青木、舟和、魚久、大増、玉木屋、神茂、酒悦”のおかずが入った豪華版です。寅次郎御用達のJR東京駅構内“駅弁屋 祭”で買いました。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

平野 寅次郎 拝